

# くまもとたいかい アビリンピック熊本大会2026

## ビルクリーニングB競技練習用課題

※本番用課題と同じです

### 【共通事項】

1. 課題には時間が定められています（15分で打ち切り）
2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査し、加算方式によって行われます
4. 作業に適した服装をしてください
5. 作業開始の指示は競技委員が行います。
6. 作業ごとに入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
7. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は競技中に声を出さないでください
8. 残り 2 分で合図を出します

◎課題1：弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は $16 \text{ m}^2$  ( $4\text{m} \times 4\text{m}$ ) とし、幅木により区画します。
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
3. 作業は、床面の除塵・拭き・ゴミ処理及び机上拭き作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください
5. 乾式モップの柄は、長さが調整できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調整してください。
6. 乾式モップ用のクロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください
7. 床のゴミは「おがくず」とし50ml程度をまいたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください

◎資機材一覧表

1.各競技場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング競技検定資 機材に準拠	1台	
作業標示板		1個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
ラゲ (モップ房)	260g 白色	1房	
小型ぼうぎ	30cm幅用	1本	
乾式モップヘッド	63cm	1枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資 機材に準拠	1個	
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚、 から拭き用 (白色) 1枚	2枚	
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚	

ビニール袋 <sup>ぶくろ</sup>	ゴミ箱用替袋 <sup>ぼごようかえぶくろ</sup>	1枚 <sup>まい</sup>	
機 <sup>つくえ</sup>	ビルクリーニング技能検定資 <sup>ぎのうけんていし</sup> 機材に準拠 <sup>きざい じゆんきよ</sup>	1台 <sup>だい</sup>	
イス	パイプ式折りたたみ <sup>しきお</sup>	1脚 <sup>きやく</sup>	
ゴミ箱 <sup>ぼご</sup>	角型 <sup>かくがた</sup>	1個 <sup>こ</sup>	

## 2. 競技者が持参するもの<sup>きぎやが じさん</sup>

品名 <sup>ひんめい</sup>	寸法又は規格 <sup>すんぽうまた きかく</sup>	数量 <sup>すうりやう</sup>	備考 <sup>びこう</sup>
作業着 (上・下) <sup>さぎやうぎ (うへ した)</sup>		1着 <sup>ちやく</sup>	
作業帽又は三角巾 <sup>さぎやうぼうまた さんかくきん</sup>		1個 <sup>こ</sup>	
作業靴 <sup>さぎやうくつ</sup>		1足 <sup>そく</sup>	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し

つか  
支えない。

課題1 弾性床清掃及び机上清掃 (作業時間:10分)

作業仕様1-1

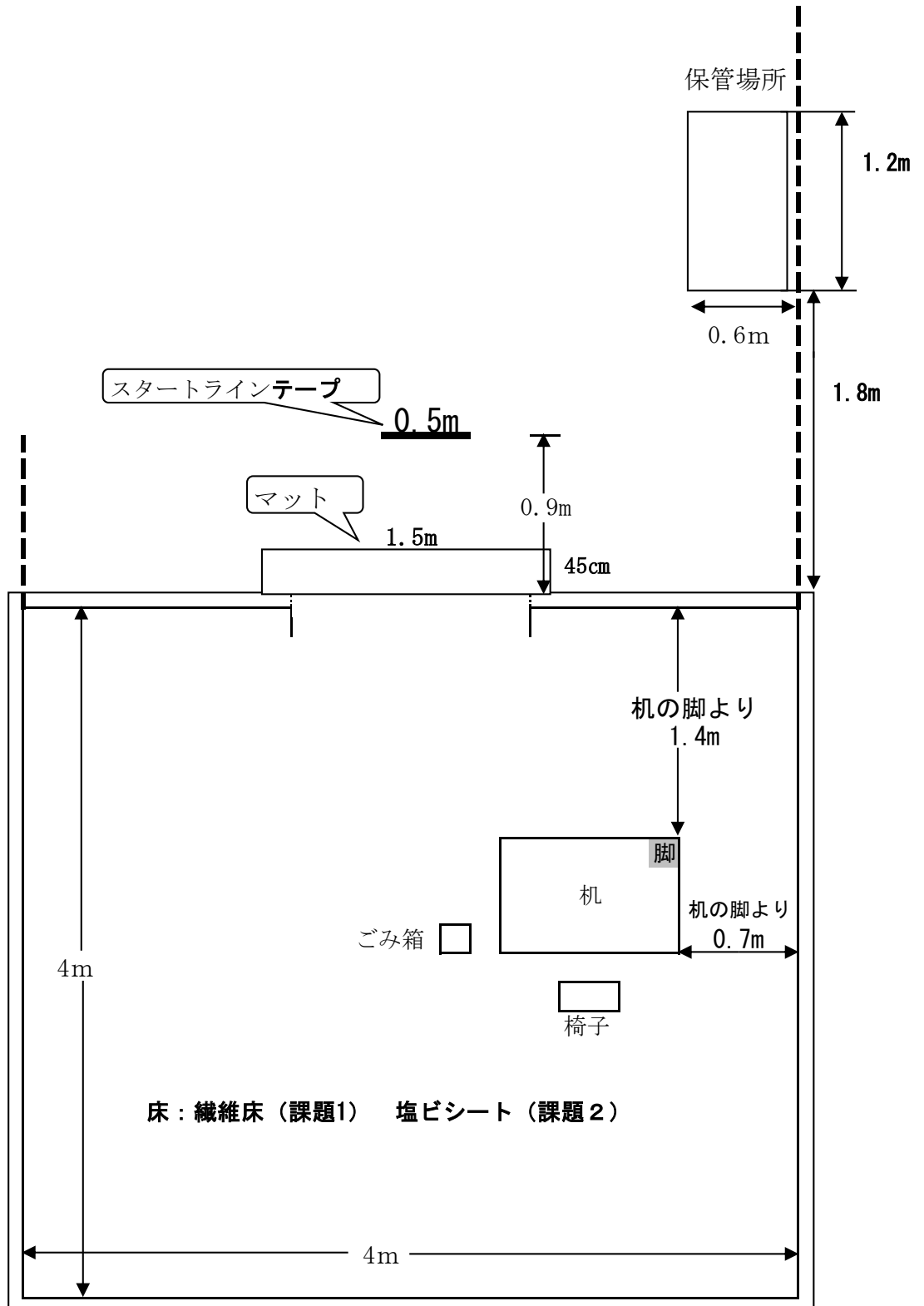
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>・作業に必要な資機材(タオル・モップ等)は、すでに作業カート(以下カート)上部に準備されている。</p> <p>①ワンタッチモップ柄(以下柄)の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。</p> <p>②ダスタークロスを装着した乾式モップヘッド(以下ヘッド)は、カート上部に置く。</p>	<p>・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</p> <p>・資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>かたてあげ、いちれいする。</p>	<p>作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>作業用カート(以下カート)を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。</p>		
入室の挨拶	<p>入りぐち、室内に向かつて入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」といちれい、にゅうしつ一礼して入室する。</p>	
<p>イス上げとゴミ処理</p> <p>(1)イスを上げる</p> <p>(2)ゴミの回収</p> <p>(3)ゴミ袋のセット</p>	<p>①作業前にイスを机上に上げる。</p> <p>②ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。</p> <p>③回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ゴミ箱を机上に上げる。</p>	<p>・机は動かさない。</p> <p>・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。</p> <p>・ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。</p>	

<p>じょじんさぎょう 除塵作業 (乾式モップ)</p>	<p>①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。</p> <p>②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</p> <p>③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所を集める。</p> <p>④ ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロスはヘッドから外し、カートの中の袋の中に収納する。</p> <p>⑥柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑦小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたゴミを回収する。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑨小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。</p>	<p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・ヘッドの辺は広い方を先行させる。</p> <p>・入口のゴミを踏まないように足場を確保する。</p> <p>・ヘッドは、床から離さない。</p> <p>・使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。</p> <p>・ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</p> <p>・ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</p>	<p>ごみは、おがくずを 50ml 程度均等にまいてある。</p> <p>点検の際に声を出さないこと。</p>
--------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

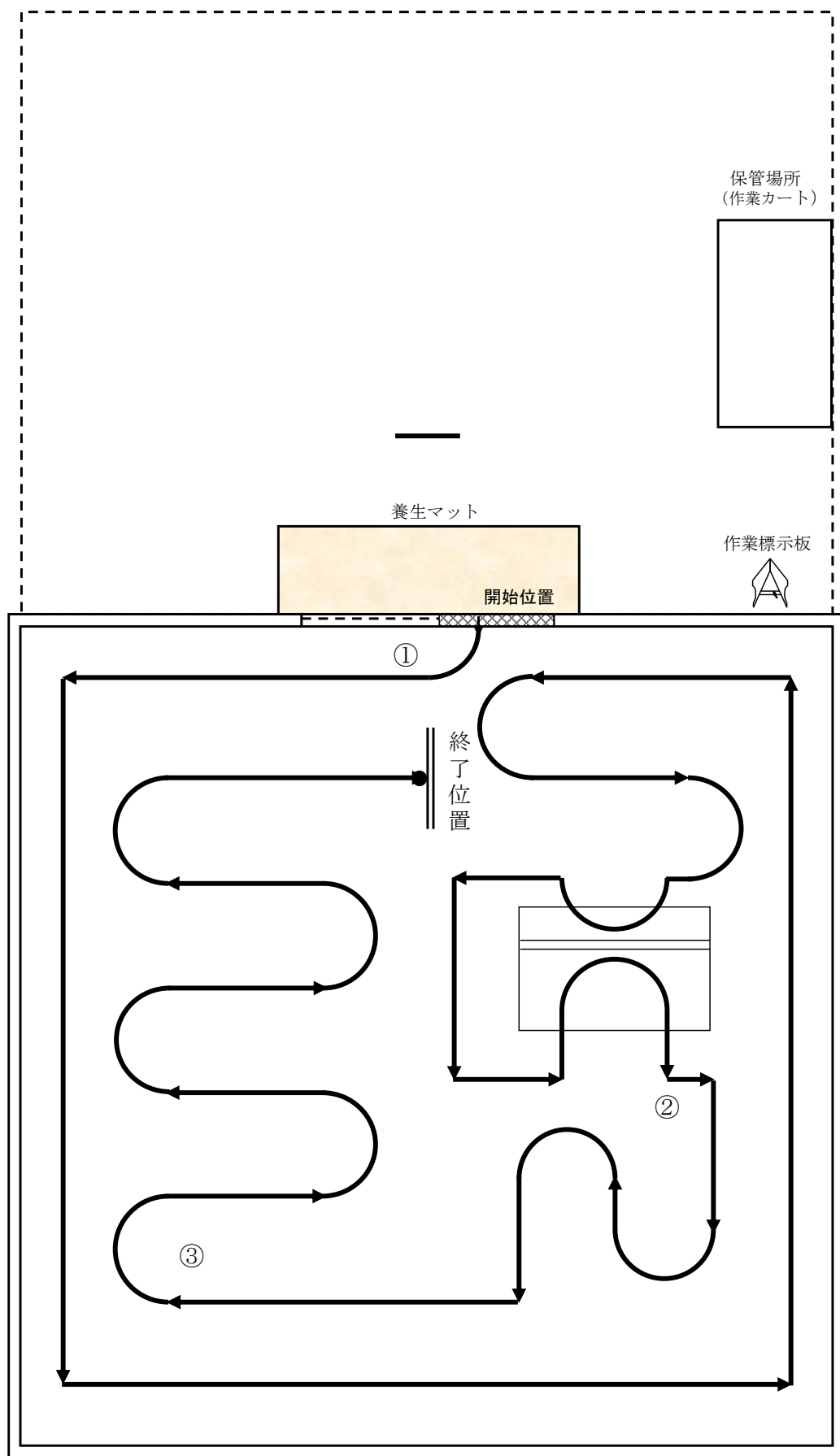
きぎょうしやう  
作業仕様 1-2

きぎょうこうてい 作業工程	きぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふきさぎょう 水拭き作業 (モップ)	<p>① コート全体面積を拭く。</p> <p>② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③ コーナー周りと机の足元は房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④ モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<p>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>・拭いたところを踏まないようにする。</p>	
ごみ箱とイス下ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないように下ろす。	あし うえ お ・足の上に落とさないように注意する。	
きじょうふき 机上拭き	<p>① 青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>② 机の上を青色のタオルで水拭きした後、白色のタオルでから拭きを行う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。</p> <p>・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。</p> <p>・横拭き・縦拭きを行う。</p>	
てんけん 点検	ゆびき また もくしてんけん 指差し又は目視点検を行う。	しきざい わす ・資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	てんけん さい こえ 点検の際に声をださないこと。
たいしつ さいきつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひやうじばん 作業表示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
しゅうりやう さいきつ 終了の挨拶	しよてい いち た 所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	お 「終わりました」等の意思表示を行う。	さぎょうしゅうりやう 作業終了を申告する。

# 標準配置図(モデル)

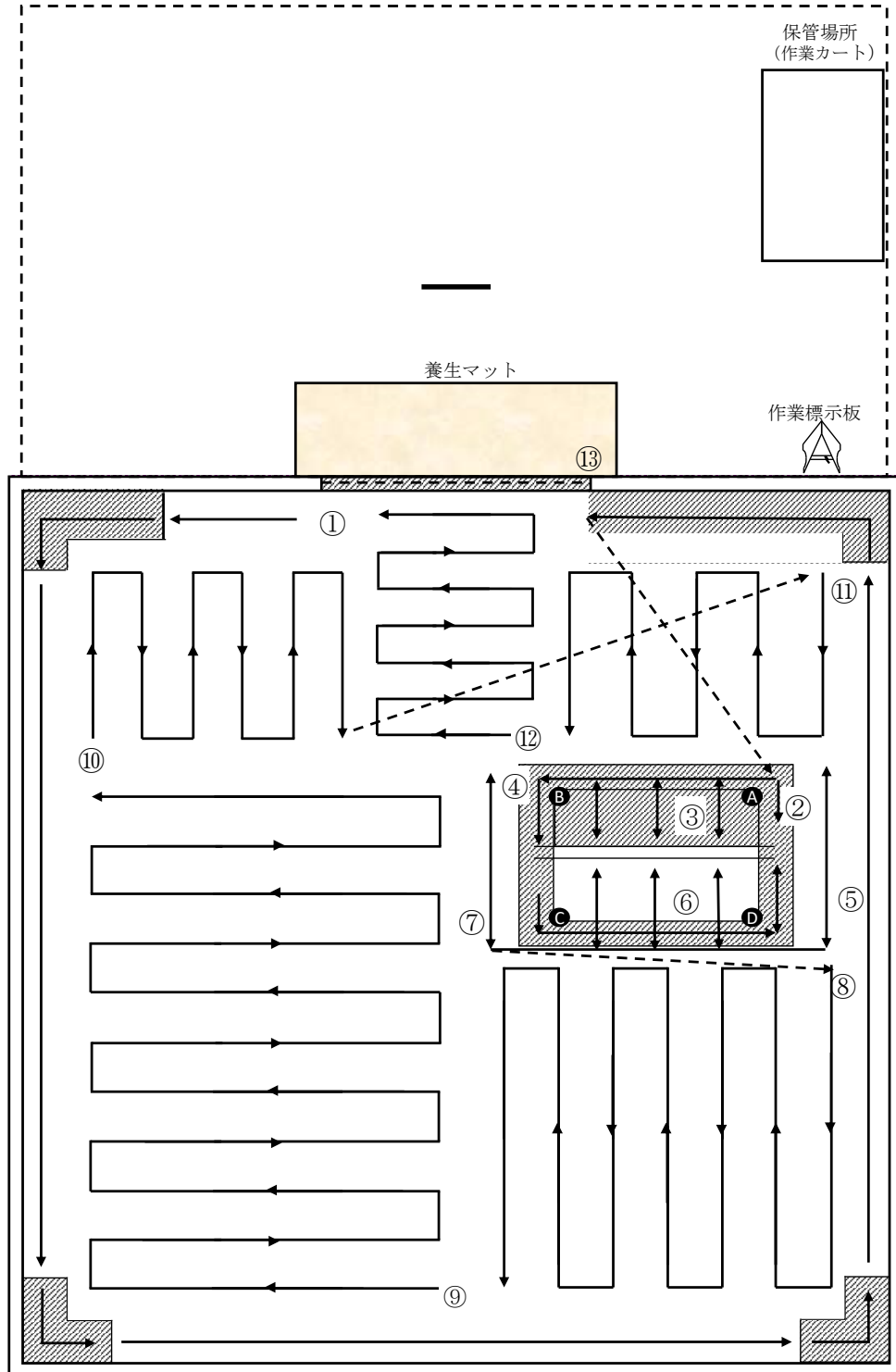


# 乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

# 水拭きモップ作業手順

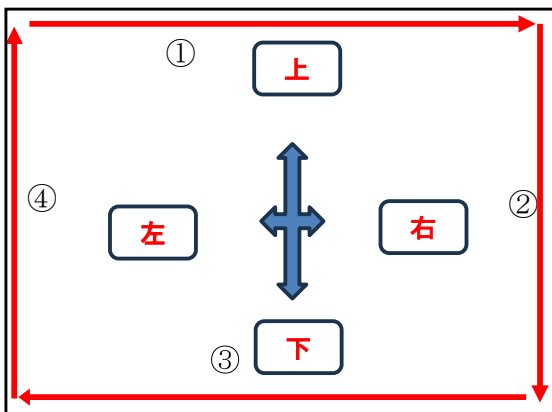


注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

## 机上拭き

### その1. 縁(机の4辺)の作業動線



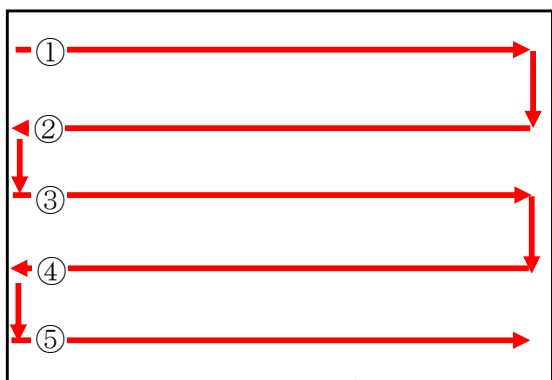
### その2. 縁(机の4辺)の拭き方

※. 選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ (縦拭き・横拭きも同様)

A. 机「上端」の縁を左端から①→②→③→④の順で机の「縁」を拭く。

※. 左手で拭く場合は、机「上端」右側からスタートしても構わない。

### その2. 机中央の作業動線 (横拭き)

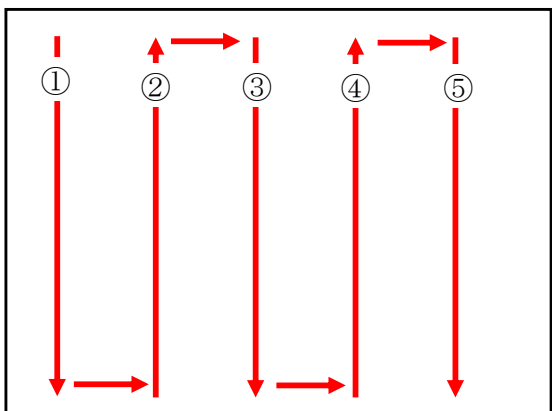


①～⑤の様に机「中央」を左側から拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※. 左手で拭く場合は、机右側からスタートしても構わない。

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。

### その3. 机中央の作業動線 (縦拭き)



①～⑤の様に机「中央」を上端から手前へ縦拭きによる拭き方で拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※左手でタオルを持って作業する場合の動線は、右手による拭き方の「逆 (⑤～①)」になっても問題ない。